



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <https://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

(氏名) 安井 卓
 (氏名) 苅田 透
 TEL 092-472-7311
 配当支払開始予定日 2020年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,278	19.0	669	45.9	738	43.1	483	42.7
2020年3月期第2四半期	21,335	7.5	1,238	3.8	1,298	0.7	844	2.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 612百万円 (14.4%) 2020年3月期第2四半期 715百万円 (6.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	59.19	
2020年3月期第2四半期	103.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	29,127	16,815	56.6
2020年3月期	30,326	16,417	53.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 16,491百万円 2020年3月期 16,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		30.00	60.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,600	20.0	1,320	48.8	1,400	48.5	950	48.0	116.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料11ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	8,640,000 株	2020年3月期	8,640,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	469,425 株	2020年3月期	469,425 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	8,170,575 株	2020年3月期2Q	8,170,670 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況ははまだ改善しておらず、依然として先が見通せない状況で推移しました。

一方、日本経済は、緊急事態宣言解除後の個人消費や生産の持ち直しがみられるものの、景気の先行きが不透明であることから設備投資に対して企業が慎重な姿勢を示すなど、引き続き厳しい状況の推移となりました。

このような経済環境の中、当社グループでは引き続き中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に基づく施策に取り組み、第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高172億78百万円（前年同期比19.0%減）、営業利益6億69百万円（同45.9%減）、経常利益7億38百万円（同43.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億83百万円（同42.7%減）という結果になりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け低迷していた世界的な粗鋼生産量が、8月には前年同月実績を上回るなどしたものの、全体的には先行き不透明な状況で推移しました。世界的には落ち込みがみられる同業界の中で、中国は新型コロナウイルス感染症の打撃から生産活動が回復しており、需要は回復傾向にあります。

日本国内においては、粗鋼生産量は前月比で回復傾向にあるものの、前年割れの状況は継続しています。建設向けの鋼材需要は低調、自動車を中心とした産業向けの需要は回復傾向で推移するものの、依然として先を読み切れない状況で推移しました。

当社グループにおきましては、『安全・防災・自動化への対応』や『メンテナンス・修理・再生サービスの拡充』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、製鋼工程向けで解体機や熱延工程水処理設備向けプランジャーポンプの受注は好調であったものの、製鋼用副資材やバルブ、厚板工程向け圧延ロール、伸縮継手、ジャバラ等の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は55億40百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

(自動車業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の経済活動への深刻な影響を受け、自動車部品調達難や工場の稼働停止などで自動車生産台数は大幅に減少しました。足元では正常化に向かい回復傾向にあるものの、以前の水準までの回復には至らず、主要な市場である米国および東南アジアにおける新車販売台数も大幅に落ち込むなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

また工作機械においても、国内および北米での設備投資の冷え込みが継続しており、中国市場が回復の兆しをみせるものの、全体の減少を補うには至らず、底ばいの状況で推移しました。

当社グループにおきましては、『顧客開発部門との協働』や『製造工程の自動化対応』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、自動車部品メーカー向けで超硬加工部品やメッキ剥離装置の引き合いが強かったものの、自社洗浄装置やポンプ類、工作機械業界向けの自社継手製品や自社浮上油回収機の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は39億80百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、5G普及を背景にした電子部品の需要は堅調であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた自動車生産台数の減少による、自動車の電装化・電動化を背景とした電子部品・半導体の需要が見通せず、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、『メーカー機能・修理サービス事業強化』や『車載用半導体分野の開拓』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、自社洗浄装置の受注は落ち込んだものの、電子・半導体メーカー向けにセラミックス加工品、自社継手製品やポンプ類の受注が伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は21億25百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた工場の一時休止や、世界的な自動車販売の落ち込みで新車用、市販用とも大幅に落ち込んだ需要に回復の動きはみられず、先が見通せない状況で推移しました。

当社グループにおきましては、『未来の環境対応車用タイヤへの対応力強化』や『海外事業拡大』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、タイヤメーカー加硫設備向けプロワを受注したほか、油圧機器類の受注が伸長しましたが、タイヤ加硫機用バルブの受注が大幅に落ち込んだことに加え、自社継手製品やショットブラスト装置の受注も落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は10億60百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

(高機能材業界)

同業界では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生産設備の稼働減が続き、航空機や自動車需要も低迷するなど低調に推移しました。

当社グループにおきましては、『炭素繊維・高機能ガラス・樹脂フィルム分野への深耕』を課題として諸施策に取り組んだ結果、硝子メーカー向けで洗浄装置、製薬会社向けでポンプユニット受注が伸長しましたが、非鉄金属メーカー向け廃棄物処理プラントの受注が大幅に落ち込んだことに加え、同じく非鉄金属メーカー向けで削岩機器類の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は8億92百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

(環境業界)

同業界では、官公需・外需は堅調を維持したものの、製造業・非製造業が大幅に落ち込み、総じて低調に推移しました。

当社グループにおきましては、『水処理関連事業の拡大』や『エネルギー分野への対応強化』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、下水施設向けで配管設備を受注したほか、環境プラントメーカー冷却設備向けでダンパの受注が伸長、ジャバラや自社継手製品の受注も伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は8億52百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

(紙パルプ業界)

同業界では、ネット通販向けで段ボール原紙、新型コロナウイルス感染症の影響で家庭紙や紙容器などの需要が好調であるものの、ペーパーレス化による需要の減少は加速しており、厳しい状況にあります。

当社グループにおきましては、『ケミカル素材分野への深耕』や『メンテナンスビジネス推進』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、製紙会社調葉設備の修理や抄紙工程のメンテナンスを受注したものの、大型案件の受注に乏しく、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は3億74百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し226億89百万円となりました。これは、主に現金及び預金が11億58百万円、たな卸資産が3億84百万円それぞれ増加し、一方で、売上債権が29億37百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し64億38百万円となりました。これは主に投資有価証券が2億18百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、291億27百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.9%減少し109億73百万円となりました。これは、主に仕入債務が10億51百万円、短期借入金が1億91百万円、その他が3億69百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し13億38百万円となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し、123億12百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し168億15百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億70百万円、その他有価証券評価差額金が1億45百万円それぞれ増加し、一方で、為替換算調整勘定が32百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までの実績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、鉄鋼業界や自動車業界など当社グループの主要顧客業界における設備投資の削減などにより、売上高は大きく減少しましたが、一方で経費削減などにより利益面では従来予想から上振れいたしました。

第3四半期以降についても、国内は引き続き厳しい状況が続くものと想定していますが、海外においては、中国や米国の子会社で受注の増加がみられるなど、一部に回復の動きが出てきております。このような状況を踏まえ、通期の業績予想を上方修正いたします。

詳細につきましては、本日(2020年11月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,505,579	7,664,285
受取手形	1,190,081	851,903
電子記録債権	2,072,633	2,050,524
売掛金	12,355,280	9,778,195
商品及び製品	1,303,450	1,549,259
仕掛品	183,790	301,630
原材料及び貯蔵品	153,222	173,617
その他	339,151	320,899
貸倒引当金	△828	△672
流動資産合計	24,102,360	22,689,643
固定資産		
有形固定資産	3,019,069	3,050,627
無形固定資産	135,701	126,788
投資その他の資産		
投資有価証券	2,346,859	2,565,774
その他	750,584	721,079
貸倒引当金	△27,644	△26,091
投資その他の資産合計	3,069,799	3,260,761
固定資産合計	6,224,571	6,438,177
資産合計	30,326,931	29,127,821
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,158,389	610,927
電子記録債務	3,978,104	3,735,002
買掛金	4,030,573	3,769,835
短期借入金	1,762,426	1,571,257
1年内返済予定の長期借入金	21,600	21,600
未払法人税等	310,385	249,766
賞与引当金	-	9,129
役員賞与引当金	-	37,112
その他	1,338,525	969,228
流動負債合計	12,600,005	10,973,859
固定負債		
長期借入金	313,600	302,800
役員退職慰労引当金	228,670	247,369
退職給付に係る負債	550,692	548,434
その他	216,507	239,795
固定負債合計	1,309,471	1,338,399
負債合計	13,909,476	12,312,259

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	1,057,212	1,057,212
利益剰余金	14,355,309	14,626,152
自己株式	△407,593	△407,593
株主資本合計	15,832,828	16,103,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	255,442	400,800
為替換算調整勘定	5,919	△26,267
退職給付に係る調整累計額	15,949	13,531
その他の包括利益累計額合計	277,310	388,065
非支配株主持分	307,317	323,825
純資産合計	16,417,455	16,815,561
負債純資産合計	30,326,931	29,127,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	21,335,045	17,278,396
売上原価	16,720,668	13,498,242
売上総利益	4,614,376	3,780,154
販売費及び一般管理費	3,375,781	3,110,273
営業利益	1,238,595	669,881
営業外収益		
受取利息	3,184	7,313
受取配当金	34,005	29,866
持分法による投資利益	12,307	8,428
不動産賃貸料	10,090	7,464
投資事業組合運用益	2,220	4,489
その他	23,126	28,022
営業外収益合計	84,935	85,584
営業外費用		
支払利息	3,894	9,510
為替差損	17,952	3,272
その他	3,343	4,303
営業外費用合計	25,190	17,087
経常利益	1,298,340	738,378
特別利益		
固定資産売却益	17	162
投資有価証券売却益	2,700	-
保険解約返戻金	1,174	4,901
特別利益合計	3,892	5,063
特別損失		
固定資産売却損	291	2,898
固定資産除却損	9,120	1,645
投資有価証券評価損	6,695	-
会員権評価損	20	-
特別損失合計	16,127	4,543
税金等調整前四半期純利益	1,286,105	738,898
法人税等	426,971	241,454
四半期純利益	859,133	497,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,491	13,867
親会社株主に帰属する四半期純利益	844,642	483,576

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	859,133	497,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,983	151,543
為替換算調整勘定	△22,869	△35,350
退職給付に係る調整額	△4,634	△2,417
持分法適用会社に対する持分相当額	447	940
その他の包括利益合計	△144,040	114,716
四半期包括利益	715,092	612,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	701,093	594,331
非支配株主に係る四半期包括利益	13,999	17,828

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,286,105	738,898
減価償却費	149,694	158,628
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	9,174
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	80,025	37,112
未払役員賞与の増減額 (△は減少)	△109,094	△106,369
退職給付に係る資産及び負債の増減額 (△は減少)	△12,615	△8,511
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44,410	18,698
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,269	△1,709
受取利息及び受取配当金	△37,189	△37,180
支払利息	3,894	9,510
為替差損益 (△は益)	5,703	4,600
持分法による投資損益 (△は益)	△12,307	△8,428
固定資産除却損	9,120	1,645
有形固定資産売却損益 (△は益)	273	2,736
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,700	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,695	-
投資事業組合運用損益 (△は益)	△2,220	△4,489
会員権評価損	20	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,376,678	3,104,958
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△233,898	△282,460
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,503	55,790
仕入債務の増減額 (△は減少)	△516,386	△1,238,594
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,911	△141,537
その他の負債の増減額 (△は減少)	△136,948	△304,416
小計	1,785,293	2,008,057
利息及び配当金の受取額	37,764	37,755
利息の支払額	△3,893	△9,529
法人税等の支払額	△523,378	△303,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,295,786	1,732,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△549,621	△609,751
定期預金の払戻による収入	539,912	599,619
有形固定資産の取得による支出	△104,213	△156,634
有形固定資産の売却による収入	120	6,685
投資有価証券の取得による支出	△10,480	△9,664
投資有価証券の売却及び償還による収入	16,620	20,708
貸付けによる支出	△150	△50,000
貸付金の回収による収入	3,447	7,166
その他の支出	△20,249	△14,137
その他の収入	4,130	3,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,483	△202,091

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,918,900	10,370,870
短期借入金の返済による支出	△11,811,636	△10,554,860
長期借入金の返済による支出	△10,800	△10,800
リース債務の返済による支出	△8,341	△10,654
自己株式の取得による支出	△125	-
配当金の支払額	△326,904	△244,220
非支配株主への配当金の支払額	△1,320	△1,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,227	△450,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,022	△27,871
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	915,053	1,051,436
現金及び現金同等物の期首残高	4,307,663	5,875,576
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	128,768	99,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,351,485	7,026,259

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したRIX North America, LLC. を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への 売上高	7,036,147	5,481,025	1,970,548	1,423,368	1,257,501	682,141	553,703	18,404,436
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,036,147	5,481,025	1,970,548	1,423,368	1,257,501	682,141	553,703	18,404,436
セグメント利益	709,270	364,770	133,486	69,134	110,471	65,099	71,532	1,523,764

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	2,930,609	21,335,045	—	21,335,045
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,930,609	21,335,045	—	21,335,045
セグメント利益	336,975	1,860,740	△622,144	1,238,595

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △622,144千円には、内部利益 350,094千円、連結消去 264,125千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △1,236,365千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への 売上高	5,540,427	3,980,991	2,125,540	1,060,832	892,751	852,941	374,025	14,827,510
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,540,427	3,980,991	2,125,540	1,060,832	892,751	852,941	374,025	14,827,510
セグメント利益	508,933	198,611	127,421	40,361	86,668	62,953	47,206	1,072,156

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	2,450,886	17,278,396	—	17,278,396
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,450,886	17,278,396	—	17,278,396
セグメント利益	177,498	1,249,654	△579,773	669,881

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 △579,773千円には、内部利益 287,661千円、連結消去 195,898千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △1,063,334千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。